



# ALPS処理水の処分に関する 安全対策・風評対策の最近の動向

トピック集 2024年2月

# 販促・魅力発信

- ALPS処理水に関する風評を抑制・払拭することに加え、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興や持続的な発展を後押しするため、経済産業省、復興庁、農水省にて、2022年12月20日に「**魅力発見！三陸・常磐ものネットワーク**」を立ち上げ。  
(現時点で、**1,100者を超える企業、自治体等**が参加)
- 今回、**2024年1月22日から3月24日まで**を、「**三陸・常磐ウィークス（第3弾）**」と称し、ネットワーク参加企業等における社食や弁当の購入等を通じて、「**三陸・常磐もの**」を提供。また、これまでの通常取組に加え、本ネットワークの**創設1周年を記念した新メニューを開発**。宮城県産ホタテを活用した**1周年記念弁当を2月より販売開始**。  
※なお、第1弾（2023/2/23～3/24）においては約15万食、第2弾（同年7/15～9/30）においては約50万食の「三陸・常磐もの」を提供。

## 「三陸・常磐ウィークス」における取組

- 事務局のサポートの下で、企業等の従業員による「三陸・常磐もの」の積極的な消費を後押し。
- 政府においても、「三陸・常磐もの」の弁当を積極的に消費。
- 代々木公園において、「三陸・常磐もの」を販売するマルシェや、アンコウやワカメを使ったPRイベントを実施。



▲社食やお弁当で三陸・常磐ものを導入した企業の例



▲齋藤大臣も食べて応援



▲岩田副大臣もイベントへ参加



▲1周年記念弁当

- 三陸常磐エリアの豊潤な海の幸を多くの方に知っていただき、味わっていただくための施策として「**ごひいき！三陸常磐キャンペーン**」を**2022年10月1日より実施**。
- 2024年2月には**クスリのアオキ（23府県）、井上百貨店（長野県）、ながの東急百貨店（長野県）**において**三陸常磐海産物の販促キャンペーンを実施**。

## キャンペーンの様子



クスリのアオキ（23府県）



ながの東急百貨店（長野県）

- 2024年2月21日から22日の期間、「ごひいき！三陸常磐キャンペーン」のもと、大阪ATCホールで開催された水産見本市「**第21回シーフードショー大阪**」において、一画に「三陸・常磐エリア」を設け、**三陸・常磐地方の事業者の方々の出展をサポート。流通・小売関係事業者等に向けて魅力を発信。**
- 本イベントにおいては、**寿司職人による実演イベント**を実施し、来場された流通・小売関係事業者等に**三陸・常磐もの**を実際に食べていただき試食会は大盛況だった。

## イベントの様子



事業者の出展ブースの様子



寿司職人による実演イベントの様子



- 宮城県において、漁業者団体及び県庁と連携し、**小中学生を対象に宮城県産水産物を使った親子料理教室を開催。**
- 調理・試食を通じて宮城県産水産物の魅力を伝えるとともに、保護者には「魚の栄養と健康」について、子どもには「魚の耳石採集(7月～9月)」「お魚クイズ(10月～2月)」を通じ、魚について学ぶ機会を提供し、**若年層にも水産業や海産物を身近に感じていただく取組。**
- 2023年7月から2024年2月まで計16回親子料理教室を開催。**合計121組(242人)の親子が参加し**、宮城県産の旬の水産物を使った料理3品をつかって味わった。
- これまで参加した方の**9割以上が「今回作った料理をまた作りたい」とアンケートに回答しており**、宮城県産水産物の魅力発信を実施することができた。

## 「親子で参加♪宮城の海を味わう！料理教室」の様様



講義の様子



調理風景



銀鮭のソテー カレークリームソース/海苔と春雨のスープ/帆立貝のピラフ(左上)、銀鮭とわかめの混ぜご飯(右上)、ホタテ貝のチャウダー(左下)、銀鮭のポシェ マヨバタソース(右下)

- 三陸が誇る「わかめ」の県内外消費を拡大していくため、「#三陸魚介プライド 宮城県産 岩手県産 わかめフェア」を2月1日～2月29日の期間で開催。
- 宮城県内（約70店舗）において、宮城県・岩手県で水揚げされる「三陸産わかめ」の特徴を理解し、その特性にあったメニューを各店舗オリジナルで提供している。
- 春のはじまりとともに旬を迎えるわかめ。食物繊維・ビタミン・ミネラルがバランス良く含まれており、低カロリーで優秀な食材。
- 宮城県・岩手県の三陸沖で養殖されるわかめは「三陸わかめ」とも呼ばれ、肉厚で食べ応えも抜群。
- こうした取組を通じ、三陸地域の水産品・水産加工品の魅力発信を継続していきたい。

## わかめフェアの様子



わかめの天ぷら



わかめとえびの子チミ



とれたてわかめと生ハム・カブのカルパッチョ

- 本年2月24日（土）、「**石巻地域の海産物を浜で知って・学ぶ**」というテーマで、**三陸の水産物の魅力発信を目的とした産地ツアーを開催。**
- 具体的には、OpenFactory事業として、石巻地域ならではの食を楽しむことができるツアーを実施。
- 抽選で選ばれた約25名の参加者に対して、旬のとれたてワカメを使用した「しゃぶしゃぶ」や、鯖出汁を使用することが特徴の石巻おでん、三陸産水産物を使用した石巻焼そばの**特徴や美味しさ等の魅力をPRした。**
- 生産者の思いや製造工程等、モノづくりや地域の魅力発信を継続していきたい。

## 産地ツアーの様子



石巻地域の海産物の魅力を学ぶ様子



石巻産の生ワカメ



ワカメのしゃぶしゃぶ

- 2月16日～18日の3日間、栃木県茂木町の「道の駅もてぎ」にて福島相双復興推進機構の主催で福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店した。
- 本イベントでは、**福島県漁連や福島県の水産加工業者など全11社の商品33品を販売し、ほぼ完売した。**また、マルリフーズの「あおさの味噌汁」、岩下商店の「ちぎり揚げODEN仕立て」、福島県漁連の「さんまのポーポー焼き」の試食を実施した。
- また、開催初日の16日には、**栃木県の福田知事・天利（あまり）副知事、茂木町の古口（こぐち）町長・小崎（おさき）副町長・渡辺議長にもご来場**いただき、福島県の水産物をPRいただいた。

## ふくしま常磐大漁市 in 道の駅もてぎ



▲会場の様子



▲試食の様子  
(福田知事(右1人目)、古口町長(左2人目))



▲福田知事(右1人目)、天利副知事(左2人目)  
古口町長(左1人目)

### ■ 来場者の声

「新地町出身なので相馬の商品を楽しみに来場した」「ポーポー焼きを始めて試食したが美味しい」といった、応援する声が多く寄せられた。

- 2月27日～3月3日の6日間、JR上野駅の中央改札口前で開催中の「南東北産直市」に、**福島相双復興推進機構の主催で、福島県の水産加工品の販売会である「ふくしま常磐大漁市」を出店している。**
- 本イベントでは、常磐ものの水産加工品を首都圏を中心とした消費者に味わってもらい、販路拡大を目指す。**福島県の水産加工業者9事業者、約35商品を販売予定。**

## ふくしま常磐大漁市 in 南東北産直市（上野駅）

- 日 時：2024年2月27日（火）～3月3日（日）
- 場 所：JR上野駅中央改札外グランドコンコース
- イベントURL：https://fukushima-challenge.go.jp/event/jobantairyochi2024-1/



▲JR上野駅中央改札外グランドコンコース（販売イメージ）

### 【出品事業者（主な販売商品）】

- ・福島県漁業協同組合連合会（ひらめフィレ、めひかり唐揚げ）
- ・佐藤水産（海苔の佃煮）
- ・マルリフーズ（松川浦かけるあおさ、松川浦かけるあおさ ハラペーニョ、あおさの佃煮）
- ・岩下商店（松川浦産アオサ入りお手軽ちぎり揚げ）
- ・カネセン水産（味付けタコ、タコ飯の素）
- ・かねまん本舗（シーフードケーキ（創作かまぼこ））
- ・貴千（ご褒美BAR（新感覚かまぼこ））
- ・三陸水産（紅鮭スモークサーモンスライス、天日塩で漬けた太刀魚の天日干し）
- ・おのづか食品（うに味噌）

※予告なく事業者または販売商品を変更する場合がございます。

### 【商品イメージ】



（商品左）かけるあおさ  
（商品右）かけるあおさ ハラペーニョ



ご褒美BAR

- 1月より、マレーシアにて日本産水産物のEC販売を行う「**MOCHIYA Fine Food Store**」と連携し、日本産水産物の販売拡大を支援。1月26日～28日には、マレーシア・クアラルンプールのらぽーとBBCC内にて、**日本産水産物を現地消費者向けに試食提供するイベント「Japanese Seafood Fest 2024」を開催**し、来場者に対し、**宮城県産・青森県産のホタテ、愛媛県産のマグロ、ハマチ、兵庫県産のカキ、国内産のサバ等、5種6品目を提供**。試食提供をした日本産水産物は、いずれも「MOCHIYA Fine Food Store」で購入することが出来、需要喚起及び販売拡大を企図。
- **19のメディア**に取り上げられ、日本産水産物のイメージ向上に寄与するとともに、日本産水産物への現地の関心の高さがうかがえた。

## Japanese Seafood Fest 2024 イベント概要

### <イベント概要>

- ・会 期：2024年1月26日（金）～28日（日）
- ・会 場：らぽーとBBCC内イベントスペースWowPlaza  
（マレーシア・クアラルンプール）
- ・イベント参加者：2,000名以上
- ・メディア掲載件数：19件（内訳：日系4件/現地系15件）
- ・PRした水産物：ホタテ、カキ、マグロ、ハマチ、サバ



試食提供の様子

### <来場者の反応>

- ・マレー系の来場者を中心に、「生魚は初めて食べたがおいしい」という声が多かった。ゆでたホタテやしめ鯖が好評だった。
- ・「生の風味と海の香りに驚いた」「これを機に日本食レストランで刺し身を食べたい」「日本食レストランは高級で頻繁には行けないため試食で味わえて良い機会になった」という声があった。



マグロ解体ショーの様子



日本産水産品のパネル展示

- 1月29日～2月2日の日程で、オランダ、イタリア、イギリスの**ECバイヤー及びディストリビューター計5名を、北海道及び愛媛県に招聘し、ホタテ・ブリ・タイ等を取り扱う地元の水産事業者計5社との個別商談会**を実施。
- 水産事業者より、自社商品の特徴や品質の高さを動画等も交え効果的にPRするとともに、EU-HACCPの認証を取得している加工場の視察により施設の安全性と加工処理技術の高さ等を遡及した結果、**バイヤーより日本産水産物の品質及びかかる加工技術の高さが評価され、成約が見込まれる。**

## 事業概要

- 期間：2024年1月29日（月）～2月2日（金）
- 訪問先：北海道、愛媛県の水産事業者 計5社
- 招聘バイヤー数：5名  
（オランダ：1名、イタリア：2名、イギリス：2名）
- 内容：個別商談、試食会、加工場の視察、養殖場の視察

## 訪問先例

- 場所：北海道水産事業者
  - 日時：2024年1月29日（月）
  - 紹介商品：ホタテ
  - 内容：個別商談会、加工場の視察
- ・商談会においてバイヤーは、水産事業者のホタテ出荷量についても確認した上で、高品質なホタテの欧州での最適な提供方法について議論。
- ・EU圏内のHACCP認証を取得している加工場の視察に際しては、**水産事業者から施設の安全性と加工処理技術や品質の高さ、冷凍作業等の管理基準に関する説明が行われ、バイヤーより高く評価。**

- ジェトロによる招へいバイヤーが、青森、岩手、宮城、福島県の水産品等の関連施設及び中小企業を訪問、視察や商談の様子を撮影し、ニュース形式コンテンツを制作。
- 同コンテンツをインドネシア、タイ、マレーシア等アジア地域を中心に2024年1月よりTV放送、配信。

## 三陸・福島地域水産品等の魅力・情報発信



招へいバイヤーによる商談の様子



招へいバイヤーによる企業訪問の様子



招へいバイヤーによる視察の様子



- **カタール・ドーハの日本食レストランで、1月25日から3週間にわたって日本産水産物PRイベントを開催。**1月24日に開かれたオープニングセレモニーでは、現地の王族（アル・ターニ家）や政府関係者、日本食愛好家をはじめ、飲食関係者やメディアなど約30名が参加。
- PRイベントはJUNKO Sushi & Japanese Dining restaurant（1月25～31日）、Morimoto Doha（2月1～7日）、Ninja Ramen Restaurant（2月8～14日）の3店舗で行われた。**来店客はホタテやブリ、カニなど幅広い日本水産物を試食。スパイシーな料理が好評を得るなど味の好みも把握することができた。**

## 会場の反応

- ・全体的に水産物の質が高い。
- ・日本はおいしい食品が多いので、実際に旅行に行きたい。
- ・マグロの刺身が新鮮で色も良いし味も格段に美味しい、レストランで提供していたら食べたい。
- ・スパイシーツナロールがご飯ともよく合い非常に美味しい。
- ・ハマチの名前は初めて知ったが、マグロとは違う食感で、とても美味しく気に入った。

### <参考：提供メニュー>

- ・北海道・青森産ホタテ（わかめやベリーと和えたカルパッチョ風）
- ・和歌山産クロマグロ（刺身、寿司、スパイシーツナロール）
- ・鹿児島産ハマチ（刺身、炙り）
- ・鳥取産ズワイガニ（ボイル野菜と一緒に）

## オープニングセレモニー会場の様子



前田大使ご挨拶



認知度向上のためにPR動画を活用



キャンペーン告知



提供した水産物

- 2月13日～16日にドイツ・ニュルンベルクにて開催された**世界最大級のオーガニック専門見本市「BIOFACH 2024」にジャパンパビリオンを設置。**
- 宮城県、茨城県の2社を含む27社・団体が出展し、来場バイヤーとの商談を支援した。

## BIOFACH 2024 出展概要

### <見本市概要>

- ・会 期：2024年2月13日（火）～16日（金）
- ・会 場：Exhibition Center Nuremberg（ドイツ・ニュルンベルク）
- ・主催者：ニュルンベルクメッセ
- ・出展者数：2,550社・団体（前回2023年実績：2,574社・団体）
- ・来場者数：未発表（前回2023年実績：35,991人）

### <ジャパンパビリオン概要>

- ・出品者数：27社・団体
- ・出品物：茶、調味料、コメ・コメ加工品、アルコール飲料、等
- ・宮城県、茨城県からの主な出品物：日本酒、アルコール飲料、調味料



ジャパンパビリオンの様子

- 東京電力が福島県産品の美味しさや魅力を伝えるために実施している「発見！ふくしま」の取り組みの一環として、**JR博多駅前広場にて、キッチンカーを出店し、福島県産食材を使ったメニューを提供**するほか、**マルシェを開催**する。
- 大阪府大阪市の**扇町公園で開催されるイベント「SAKANA&JAPAN FESTIVAL2024」に、「発見！ふくしま」8ブースに加えて「北海道・三陸」4ブースを出店**し、福島県産「常磐もの」のほか国内水産品の美味しさと魅力を発信する。
- 東京都渋谷区の渋谷キャストで開催する**「渋谷で福島！」のイベントに「発見！ふくしま」のキッチンカー3台を出店**する。

## ふくふくフェア in 福岡

- 日程：3月9日（土）11：00～19：00  
3月10日（日）11：00～18：00

- 場所：JR博多駅前広場



▲博多駅前広場

## SAKANA&JAPAN FESTIVAL2024 in 大阪 扇町公園

- 日程：3月20日（水・祝）～24日（日）  
10：00～20：00

- 場所：大阪府大阪市扇町公園



▲扇町公園

## 「渋谷で福島！」in 渋谷キャスト

- 日程：3月16日（土）11：00～20：00  
3月17日（日）11：00～18：00

- 場所：渋谷キャスト



▲渋谷キャスト



▲キッチンカー

▲マルシェ

- 松坂屋上野店にて、福島県産生鮮食品を取り揃えた「ふくしまフェア」を開催する。隣接するおかちまちパンダ広場では、なみえ焼きそばや福島牛焼きなどの屋台を出店する。
- 米国西海岸ロサンゼルスと東海岸ニュージャージーにある日系の大型スーパー「ミツワマーケットプレイス」11店舗にて、福島県産米「天のつぶ」パックライスの販売フェアを開催する。
- 福島県内に12店舗あるスーパーいちいと連携し、プライベートブランド商品「相馬松川浦あおさのり」を開発した。また、「発見！ふくしまフェア」を開催する。

## 松坂屋上野店「ふくしまフェア」

- 日程：3月8日（金）～13日（水）  
10：00～20：00
- 場所：松坂屋上野店
- 日程：3月9日（土）～10日（日）  
11：00～19：00
- 場所：おかちまちパンダ広場



▲生鮮食品売り場の様子  
(2023年3月)



▲パンダ広場の様子  
(2023年3月)

## 米国・ミツワマーケットプレイス「天のつぶ」フェア

- 日程：3月1日（金）～14日（木）
- 場所：米国ロサンゼルス・ニュージャージー  
日系の大型スーパー「ミツワマーケットプレイス」  
11店舗



▲試食提供の様子  
(2023年3月)



▲フェアの様子  
(2023年3月)

## スーパーマーケット「いちい」とコラボ

- 日程：3月15日（金）～20日（水・祝）
- 場所：福島県内スーパー「いちい」12店舗



▲開発商品  
「相馬松川浦  
あおさのり」



▲フェアの様子  
(2024年1月)

- 2月19日にシンガポールで開催された「天皇誕生日祝賀レセプション」に「発見！ふくしま」ブースを初めて出展し、「常磐煮干しと三陸産帆立貝柱干しの醤油中華そば」や福島県産の日本酒などを提供し、約800人の出席者に美味しさをPRした。
- 2月22日～25日の4日間、東京都渋谷区の代々木公園で「SAKANA&JAPAN FESTIVAL2024」と連携し「常磐もの」をはじめとした福島県産水産品のPRイベントを開催し、「発見！ふくしま」11ブースに加えて「北海道・三陸」10ブースも出店した。4日間で約15万人が来場し、福島県産ほか国内水産品の美味しさを伝えた。

## 在シンガポール日本国大使館主催 天皇誕生日祝賀レセプションへの出展

- 日程：2月19日（月）
- 場所：シンガポール ザリッツ カールトン ミレニア



▲ブース前の行列

▲レセプション会場

## 発見！ふくしまお魚まつり SAKANA&JAPAN FESTIVAL2024 in 代々木公園

- 日程：2月22日（木）～25（日）
- 場所：代々木公園



▲海鮮丼ブース前の行列

▲会場の様子

# 理解釀成

- **ALPS処理水に係るモニタリングの結果を一目でわかるマーク形式で表示**するページについて、**Yahoo!JAPANのトップページ**に**バナー広告**を掲載。

## ALPS処理水に係るモニタリングページ（抜粋）

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

- ALPS処理水って何？ 本当に安全なの？
- トリチウムって何？
- なぜALPS処理水を処分しなければならぬの？
- 本当に海洋放出しても大丈夫なの？
- 近海でとれた魚は大丈夫なの？

ALPS処理水に係るモニタリング

ALPS処理水は、放出前に、含まれる放射性物質の濃度測定を行い、安全基準を下回っていることを必ず確認するなど、厳格に管理されて放出が行われることから、近傍に生息する魚などの食品の安全上の問題は生じません。さらに、放出前後で、海水、魚類、海藻類のモニタリングを強化して実施し、状況を確認していきます。

### ALPS処理水の分析結果

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

- ※6月26日に採取を行ったALPS処理水（K4-Cタンク）
- ※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

放出完了した水 ※

東京電力及び第三者機関のJAEAが放出前のALPS処理水の分析を行い、いずれも基準を満たしていることを確認しました

- ※7月10日に採取を行ったALPS処理水（K4-Aタンク）
- ※基準：トリチウム以外の告示濃度比総和1未満

### 東京電力福島第一原子力発電所近傍海域のモニタリング結果（海水・魚に含まれるトリチウム）

現在の状態 ※

異常なし

- ※最新の各種関での分析結果をもとにしています

凡例

- 異常なし：「放出停止判断レベル」（設備の運用状況等の確認が必要な指標）を超えていないときに表示
- ⚠ 「放出停止判断レベル」を超えたときに表示

※「放出停止判断レベル」は、「放水口付近で700Bq/L」「放水口付近の外側10km四方内で300Bq/L」と定めています。これを超えた場合でも、周辺海域のトリチウム濃度は安全基準60,000 Bq/LやWHO飲料水基準10,000 Bq/Lを十分下回り、周辺海域は安全な状態です。

## Yahoo!JAPAN バナー広告

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

周辺の海の状態はどうなっているの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

みんなで見よう。考えよう。ALPS処理水のこと

海水や魚は大丈夫なの？

経済産業省  
Ministry of Economy, Trade and Industry

ページはこちら



- 「ALPS 処理水について知ってほしい5つのこと」をそれぞれ1分程度でわかりやすく解説する動画について動画広告を展開。  
(動画はそれぞれ画像左下の2次元コードからご覧いただけます。)

## 1分程度でわかりやすく解説する動画

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
ALPS 処理水って何？  
本当に安全なの？



- ① ALPS処理水って何？  
本当に安全なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
トリチウムって何？



- ② トリチウムって何？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？



- ③ なぜALPS処理水を  
処分しなければならないの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？



- ④ 本当に海洋放出をしても  
大丈夫なの？

みんなで  
知ろう。  
考えよう。  
ALPS処理水のこと



**動画で解説**  
近海でとれた魚は  
大丈夫なの？



- ⑤ 近海でとれた魚は  
大丈夫なの？

- 2月12日にフィジー共和国スバにて開催された**太平洋・島サミット（PALM）第5回中間閣僚会合に、上川外務大臣が出席し、ティンギカ・エリカナ・クック諸島首相特使と共に共同議長を務めた。**
- 会合では、PALM 9以降の政策面での進展や国際情勢の変化について意見交換をするとともに、**2021年の前回のPALM 9のフォローアップ及び本年7月に東京で開催する次回PALM10に向けた活発な議論**を行った。
- ALPS処理水の海洋放出について、**上川外務大臣から、一連のモニタリング等でその安全性が明確に示されていることを説明した上で、IAEAと緊密に連携しつつ、高い透明性を持って、科学的根拠に基づく説明を続けていく旨述べた。**
- PIF加盟国・地域からは、こうした日本との対話を歓迎する旨発言があり、IAEAを原子力安全の権威として認識した上で、**科学的根拠に基づく対応の重要性で一致した。**



▲太平洋・島サミット（PALM）第5回中間閣僚会合



# 安全確保

- 2月29日、**IAEA関係者が**、東京電力福島第一原子力発電所を訪問し、**東京電力が測定・確認用設備からALPS処理水のサンプルを採取する場に立ち会った。**
- 今後は、東京電力が行う分析を検証するために、**IAEAの研究所及び第三国の研究所において同サンプルの中の放射性物質の分析が行われる予定。**



▲ 東電がサンプルを採取する場へのIAEA関係者による立会い  
(※ 2022年10月の際の写真を参考として使用)

## 東京電力

- 海水中トリチウムを測定。
- 海洋放出期間中に重点化し、放出中及び放出終了から1週間は、放出口周辺の4地点で毎日、発電所から3 km以内の6地点で週2回を実施。
- 放出停止中は、放出口周辺の4地点で週1回、発電所から3 km以内の6地点で月1回実施。

## 水産庁

- 水産物は年約380検体でトリチウムを測定。
- 放出後当面の間、①放水口の北北東へ約4 km、②放水口の南南東へ約5 kmの2地点で、迅速分析を実施。

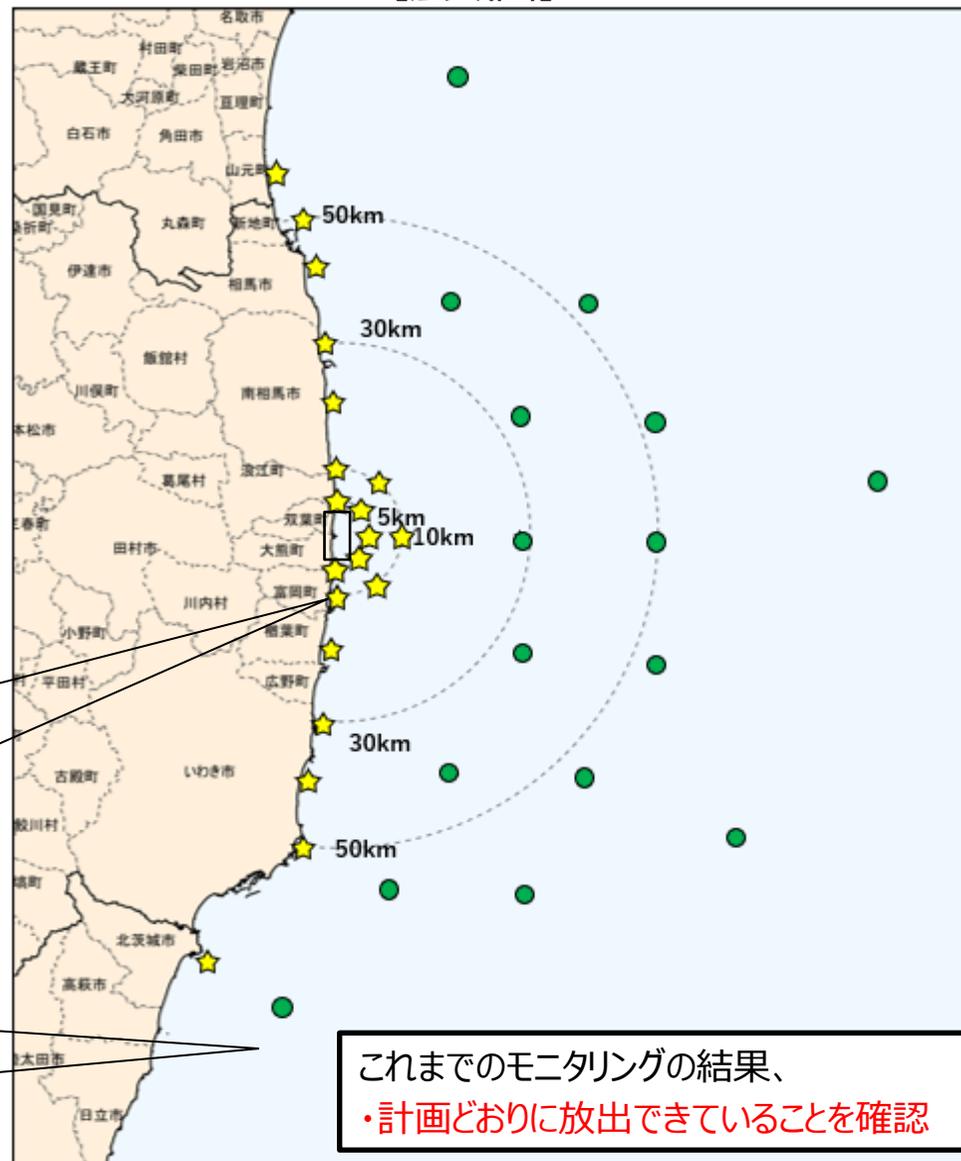
## 環境省

- 海水中トリチウムを測定。
- 海洋放出期間中に重点化し、約17日の放出期間中は放水口近傍の3地点は2回、その他20地点で1回実施。★
- 放出停止中は、放水口近傍の3地点を月1回実施。

## 原子力規制庁

- 海水中トリチウムを精密分析にて測定。
- 20km以上離れた海域や、宮城県沖南部、茨城県沖北部でも、精密分析を実施。●

【広域図】



これまでのモニタリングの結果、  
・計画どおりに放出できていることを確認

- 一昨年8月から、東京電力が、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の取組について、**定期的に地元紙（福島民報、福島民友、河北新報、岩手日報、茨城新聞）に広告を掲載。**
- 本年2月も2回掲載しており、今後も**月1～2回の頻度で継続的に実施を予定。**

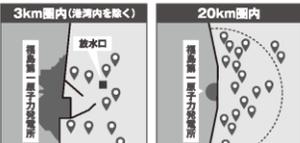
## 新聞への広告掲載内容（左上：モニタリング状況のお知らせ、右下：第34回）

広告

### 福島第一原子力発電所「周辺海域のモニタリング状況」のお知らせ(2024年2月)

東京電力ホールディングスは2022年4月から、発電所近傍や福島県沿岸の海域において、トリチウムを含む放射性物質の監視(モニタリング)を強化しています。

海域モニタリングにおけるトリチウム濃度は、運用上の指標(放出停止判断レベル:700ベクレル/l)を大きく下回る結果となっています。引き続き、ALPS処理水の海洋放出における安全性の確保に万全を期してまいります。



**3km圏内(漁河内を除く)**

**20km圏内**

エリア	海水の測定結果【単位:ベクレル/l】 (1月1日～1月末までに得られた測定結果の最大値)	
トリチウム	3km圏内	12
	20km圏内	検出せず(<0.61) [迅速測定**]
セシウム134**	3km圏内	検出せず(<0.98)
	20km圏内	検出せず(<0.0014)
セシウム137**	3km圏内	検出せず(<0.97)
	20km圏内	0.023

**【参考】トリチウム濃度の比較**

単位:ベクレル/l	国の規制基準(放出口)*1
60,000	国が規制基準(放出口)*1
10,000	世界保健機関(WHO)飲料水水質ガイドライン
700	放出停止判断レベル** (発電所から3km以内)
350	調査レベル** (発電所から3km以内)
20	日本全国の海水** 過去の変動範囲

\*1. ALPS処理水の放出口から出る水。毎日、その濃度で27時間継続した場合に一年間で1.1リットルのトリチウムを放出する。\*2. 福島県周辺海域における過去の変動範囲は、セシウム134:0.005061ベクレル/l、セシウム137:0.0028ベクレル/l(出典:日本の放射線計測と規制 第10巻(2019/4~2022/3))

**海域モニタリングの結果**

当社が測定した海水や海面水の放射性物質濃度に、有意な変動は確認されていません。

詳細は当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.tepco.co.jp/decmission/progress/watertreatment/monitoring/>

**包括的の海域モニタリング観覧システム(ORBS)**

当社以外の各機関(国連省、水産庁、原子力規制委員会、福島県)が測定した海水および水産物の放射性物質濃度も有意な変動は確認されていません。

詳細は各機関の分析結果を一元的に閲覧できるORBSをご覧ください。  
<https://www.monitororbs.jp/>

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー (福島県双葉郡大熊町大字大沢1-1)

広告

### 福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.34

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「地質・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「国連と関係の両立」に向けて、廃炉を安全かつ速実に進めています。

「包括的の海域モニタリング観覧システム(ORBS)」では、当社の他、関係省庁や自治体が公開した海域モニタリングのデータを地図上に集約し、一元的に閲覧いただけます。

【スマートフォン画面イメージ】



**Q 海域モニタリングのデータは、どうやって確認するの?**

⇒ マップ内のポイントをタップすると、海域モニタリングデータ(海水・魚類)がグラフで表示されます

**Q どの関係省庁や自治体のデータが閲覧できるの?**

⇒ 当社の他、環境省、原子力規制委員会、水産庁、福島県で実施した海域モニタリングのデータが閲覧できます。

**Q WEBは日本語のページだけなの?**

⇒ 2024年1月から、英語、中国語(簡体字・香港繁体字・台湾繁体字)、韓国語のページを閲覧でき、国内外に発信しています。

\*【包括的の海域モニタリング観覧システム(ORBS)】は、東京電力が運用しています。また、本サイトは、PC(<https://www.monitororbs.jp/ja/index.html>)、Android・iOS端末(下記QRコード)でもご覧いただけます。

ALPS処理水に関する情報はこちらをご覧ください  
▶【処理水ポータルサイト】  
<https://www.tepco.co.jp/decmission/progress/watertreatment/>

各機関が公開した海域モニタリングのデータはこちらをご覧ください  
▶【包括的の海域モニタリング観覧システム(ORBS)】  
<https://www.monitororbs.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策  
▶【皆さまの意見を聞かせください】  
<https://www.tepco.co.jp/decmission/voice.html>



東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
〒979-1501 福島県双葉郡大熊町大字大沢2-2-2